

くすぶり型川崎病に対するシクロスポリン A 単独療法の有効性

本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さん、あるいは保護者の方お一人ずつから研究参加の同意を得るかわりに、研究の目的・実施についての情報を公開し、患者さんや保護者の方が診療情報を利用されることについて拒否できる機会を保障しています。

研究のために患者さんの診療情報を使用されることを望まない方は「お問い合わせ先」へご連絡ください。患者さん・保護者の方が情報利用の拒否を申し出ても、不利益を受けることはありません。ただし、お問い合わせの時期によってはお申し出に対応できない場合がございます。予めご了承ください。

1. 研究の目的と意義

本研究では、川崎病の急性期治療を行ったものの、微熱が続く・結膜充血などの症状が残る・血液検査での炎症マーカーが軽度高値を呈するといった「くすぶり型川崎病」となった患者さんの有効な治療法について検討します。特に、2020年から保険適応となり、当院で使用しているシクロスポリン A（ネオーラル®）の有効性について解析し、将来のくすぶり型川崎病に対するよりよい治療法を模索します。

2. 対象となる患者さん

2020年1月1日～2024年3月31日の間に当院小児科に入院し、川崎病と診断された患者さんです。

3. 研究の方法

入院した患者さんの診療録（カルテ）の情報をを用いて調査を行います。くすぶり型川崎病となった患者さんと、そうはならなかった患者さんの診療情報を比較したり、シクロスポリン A を使用した患者さんと、必要としなかった患者さんの診療情報を比較します。

4. 研究に用いる診療情報

年齢、性別、身長、体重、症状、診断にかかった日数、入院期間、血液検査、尿検査、胸部 X 線検査、心電図検査、心エコー検査、治療内容、治療経過、後遺症の有無といった情報です。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究では、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令・条例を遵守して実施します。対象となる患者さんの個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、利用する情報からは、氏名、住所などの直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や医学雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定し得る情報は公表しません。

6. お問い合わせ先

研究機関 : JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 小児科
研究代表者 : 島田 空知
住所 : 〒078-8211 北海道旭川市 1 条通 24 丁目 1 1 1 -3
電話 : 0166-33-7171